

# がんセンター 便り

 宮城県立がんセンター地域医療連携室



## 就任のご挨拶

総長 あらい 荒井 よういち 陽一

4月1日付けで宮城県立がんセンターの総長を拝命しました。歴史ある当センターで皆様とともに地域がん医療に従事できますことを大変光栄に存じます。簡単に自己紹介をさせていただきます。出身は山形市です。昭和53年に京都大学医学部を卒業、京都大学助手、講師を経て、平成5年より9年間、岡山県の財団法人倉敷中央病院の泌尿器科主任部長を務めました。平成13年より、東北大学大学院教授として泌尿器科学分野を担当しました。この間、東北大学病院副院長、東北大学大学院医学系研究科副研究科長などを勤めました。専門分野は前立腺がんなどの泌尿器腫瘍学、ロボット支援手術・腹腔鏡手術などです。



今年、平成5年にがん専門病院・宮城県立がんセンターとして再スタートしてから25年目に当たります。当センターは、がんの予防・治療・研究・人材育成で大きな実績を上げてきました。今年から新たに未来型医療としてのがんゲノム医療の体制整備も始まります。皆様とともに、次世代のがん医療を担うべく新たな歴史を築いて行きたいと思っております。皆様のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

病院長兼地域医療連携室長 やまだ 山田 ひでかず 秀和

4月1日付けで病院長を拝命しました山田秀和と申します。よろしくお願い致します。専門は婦人科腫瘍で、これまで福島医大・東北大の産婦人科でトレーニングを受け、2011年3月1日より宮城県立がんセンターに勤務しています。最近の3年間は地域連携室の室長も兼務しており、関連施設の皆様には地域連携の会でお世話になりました。体の大きな男が会の司会を担当していたのを覚えている方もいるかと思っております。趣味は写真・温泉・旅行・日本酒・食べること・パソコンですが、当面は仕事を第一にしたいと考えています。



さて、院長に就任し私の大きな使命の1つは、地域の医療機関との連携を深め安心して患者をご紹介いただける体制をさらに整えることと考えています。私個人はどんな患者さんも断ることなく、できるだけ早く診ることを心がけています。がんセンターには同じ志を持ったがん治療のプロがそろっています。困った患者がいれば遠慮なくご相談いただければと思います。また、今年でがんセンターは開院25周年を迎え、秋には大きな記念式典を予定しています。ぜひ関連施設から多数の方々をご参加下さいますようお願い致します。

# 宮城県立がんセンターにおける感染症対策

感染対策室 感染症看護専門看護師 菊地 <sup>きくち</sup> <sup>よしひろ</sup> 義弘



がんは日本人の死因の第1位であり、生涯のうち約2人に1人が罹患すると推計されています。こうしたことから、本邦においては、がん対策推進基本計画が策定され、その計画が示す目標のもと、近年は科学的根拠に基づいた様々な治療や支援が行われるようになってきています。その一方で、治療に伴う多様な有害事象がみられるようになっており、そのひとつに感染症があります。

感染症対策の側面からがん患者さんの特徴をみますと、がん薬物療法による好中球減少に伴う感染症、手術部位感染、血管内留置カテーテルによる医療デバイス関連感染など、治療に伴う感染が少なくありません。

このようながん患者さんに、感染症が起こると、身体・精神的な苦痛に留まらず、ときにがん治療の中断を余儀なくされる事態ともなります。

すなわち、がん患者さんへの感染症対策は、がん治療の完遂に深く寄与しており、がん診療・看護において重要な取り組みと言えます。

当院での感染症対策に係る組織は、院長直下に感染対策室が設置され、実務においては、感染対策チーム（Infection Control Team：ICT）、抗菌薬適正使用支援チーム（Antimicrobial Stewardship Team：AST）が組織横断的に活動しております。さらに、看護単位の各部署には感染対策リンクナースが配置され、それぞれが連携・協働し感染症対策を実践しております。

ICTの役割は、感染対策に関するマニュアル整備、サーベイランスの実施、現場への介入、職員教育、相談対応など、主に感染制御であります。ASTの役割は、易感染患者の把握とモニタリング、適切な微生物検査の利用推進、抗菌薬に関する相談対応など、主に抗菌薬適正使用に関する支援です。

ICTとASTは、各々が別々に活動しても感染症対策は成立しません。したがって、当院では、感染対策・抗菌薬適正使用支援チーム（ICT／AST）として、同じメンバーで一つのチームになっています。

このような活動は、院内の協力はもとより、連携医療機関の皆様からのご支援ご理解によって支えられ、院内に留まらず、地域での感染症対策にも取り組ませていただいております。

今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



活動例：手指衛生実施状況の確認



# 新任医師紹介

- ①診療科
- ②氏名（ふりがな）
- ③出身地
- ④挨拶・抱負

①婦人科 ②工藤 敬（くどう けい）  
③岩手県盛岡市

平成29年6月1日付け

④東北大学病院産婦人科より赴任して参りました、医師9年目の工藤と申します。手術や病棟管理といった臨床業務に加え、大学院生として婦人科癌の研究にも携わらせていただいております。若輩者ではありますが、精一杯尽力させて頂きまますので何卒宜しくお願い申し上げます。



①脳神経外科 ②長南 雅志（ちやうなん まし）  
③宮城県仙台市

平成30年2月1日付け

④2018年2月から大学病院より赴任となりました。脳神経外科医師として多くの患者さんと関わって参りました。脳腫瘍や脳神経外科一般手術に携わっております。基礎研究では悪性神経膠腫、腫瘍幹細胞に対する免疫治療をテーマとしております。どうぞよろしくお願い致します。



①婦人科 ②海法 道子（かいほう みちこ）  
③福島市

平成30年4月1日付け

④この度、東北大学病院産婦人科より赴任となりました海法と申します。長年、当院の婦人科診療に貢献してこられた田勢亨先生退職の後を埋めるにはまだまだ至らない点も多くありますが、精一杯診療に従事してまいりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。



①整形外科 ②鈴木 一史（すずき かつし）  
③福島県いわき市

平成30年4月1日付け

④4月より赴任しました鈴木一史と申します。3月まで大学院で筋損傷の研究をしており、この時に整形外科腫瘍班に配属されていたこともありましたが、本格的に腫瘍の治療に携わるのは初めてとなります。早く皆様のお役にたてるよう努力いたしますのでよろしくお願い致します。



①呼吸器外科 ②川村 昌輝（かわむら まさき）  
③宮城県仙台市

平成30年4月1日付け

④初期研修医時代に当院の呼吸器外科で研修させていただき、約10年ぶりに再びお世話になることになりました。東北大学で肺癌の基礎研究を行い学位取得後、胸腔鏡手術の研鑽を積んで参りました。低侵襲手術で地域に貢献できるよう努めますのでよろしくお願い致します。



①放射線診断科

平成30年4月1日付け

②菅野 麻里那（かんの まりな）  
③宮城県

④放射線診断科の菅野と申します。大学院の3年目でこちらに赴任させていただきました。まだ専門医前で未熟な身ですが信頼できる読影を返せまよう日々精進していきたく思います。どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



①形成外科  
②太田 真澄（おあた ますみ）  
③秋田県

平成30年4月1日付け

④4月より赴任しました太田真澄と申します。まだまだ未熟ですが、早く皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



①呼吸器内科

平成30年4月1日付け

②小林 真紀（こばやし まき）  
③山形県  
④少しでもお役に立てますよう尽力いたします。



①呼吸器内科 ②島田 大嗣（しまだ たいし）  
③徳島（出生 熊本）

平成30年4月1日付け

④長崎大学歯学部を卒業後医学部に入り直した希少なダブルライセンスです。今回、前呼吸器科長の前門戸教授先生の御計らいで宮城県がんセンターで臨床と研究の勉強をさせて頂く機会をいただきました。地域の皆様のお役に立てるよう尽力させていただきます。



①消化器外科 ②茂呂 浩史（もろ ひろし）  
③栃木

平成30年4月1日付け

④仙台医療センターで初期、後期研修を行い、国立がんセンター中央病院でレジデント、チーフレジデントとしてがん治療を学ぶことができました。宮城県のがん治療に少しでも貢献できるように精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



## 新任診療科長紹介（平成30年4月1日付け）

泌尿器科 川村 貞文  
婦人科 大友 圭子  
放射線診断科 及川 秀樹  
血液内科 原崎 頼子



## 退任医師の紹介（平成30年3月31日付け）

片倉 隆一 総長 小野寺博義 病院長  
栃木 達夫 泌尿器科 田勢 亨 婦人科  
松本 恒 放射線診断科 鈴木 考 放射線診断科  
鈴木堅太郎 整形外科 黒沢 是之 形成外科  
岡崎 敏昌 呼吸器外科

## 第14回 看護部公開研修会のご案内

### 『高齡がん患者の在宅における食支援と栄養管理』

..... 摂食・嚥下障害看護認定看護師 岩佐 昭仁

### 『高齡がん患者のスキンケア』

..... 皮膚・排泄ケア認定看護師 服部 知江

- 日時：平成30年7月28日（土）9：30～12：30
- 会場：宮城県立がんセンター大会議室
- 定員：50名
- 対象：医療施設、社会福祉施設、訪問看護ステーション等で働く職員で開催内容に興味のある方

- 申込：申込用紙にご記入のうえFAXにて、お申し込み下さい。
- 担当：看護部 副部長 高山玲子



## 外来新患診療体制表

平成30年5月現在



(宮城県立がんセンター)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
血液内科		●	●			●
腫瘍内科		●		●		
呼吸器内科		●	●	●	●	●
消化器内科		●	●	●	●	●
頭頸部内科				●		
緩和ケア内科				●		●
呼吸器外科				●		●
消化器外科			●	●		●
乳腺外科	●				●	
整形外科			●		●	●
形成外科			●			●
脳神経外科	●			●		●
泌尿器科	●			●	●	
婦人科	●		●		●	
頭頸部外科	●		●		●	
放射線治療科	●		●	●	●	

診療受付時間：午前8時30分～11時00分 TEL 022-384-3151 (代) FAX 022-381-1169 (地域医療連携室)



### 交通案内

J 桜  
R 南  
仙 交 通  
自 家 用 車

東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用  
名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用  
名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用  
仙台南インターからは、国道286号バイパス経由  
県道仙台・岩沼線を利用 (所要時間約15分)

### 地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

- 受付 午前8時30分～午後5時15分
- TEL (022) 381-5152 (直通)
- (022) 384-3151 (代) 内線123
- FAX (022) 381-1169 (地域医療連携室)



## 宮城県立がんセンター

〒981-1293 宮城県名取市愛宕塩手字野田山47の1  
電話(代表) (022) 384-3151 FAX(企画総務課) (022) 381-1168

ロゴマークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。